

# BY BLUE

2004

VOL

15

琵琶湖・淀川の未来を見つめる情報誌 バイブルー



# 風景

淡海の海  
夕浪千鳥汝が鳴けば  
心もしのに  
いにしへ思ほゆ

柿本人麻呂「万葉集」

琵琶湖の夕波に群がり舞う千鳥よ。お前たちの鳴き声を聞けば、心しみじみといっそう大津の宮の時代が偲ばれる。万葉集の代表的な歌人の一人である人麻呂が、大津京に想いをはせ、懐古の慕情を詠んだものです。淡海の家とは琵琶湖のこと。浜名湖を「遠つ淡海」と呼んだのに対し、京から近い淡水湖として「近つ淡海」とも言ったそう。形が楽器の琵琶に似ていることから琵琶湖と呼ばれるようになる、ずっと以前の物語です。

(写真提供:滋賀県)



## おでかけインフォメーション

湖畔や河畔で、みんなで楽しく遊びませんか。  
水のこと自然のこと、みんなで考えてみませんか。



### びーわい BYスタンプラリー2004 BYQネットワーク

琵琶湖や淀川流域内で、水環境の改善に取り組んでいるNPOや市民団体のイベントに参加してオリジナルスタンプを集めると、ピンバッジやJスルーカードがもらえるよ!詳しくはホームページをみてね。スタンプ台紙は、協賛しているNPO等のイベントに参加したり、博物館等に行くともらえます。

期 間 2005年2月20日(日)まで

参加資格 元気な琵琶湖・淀川流域が大好きな人

お問い合わせ (財)琵琶湖・淀川水質保全機構BYスタンプラリー係  
TEL.06-6202-1267 FAX.06-6202-1317  
e-mail biyokiko@byq.or.jp  
ホームページ <http://www.byq.or.jp>

### 下物の水鳥を観察してみよう

一野外観察と水鳥のお話ー滋賀県立琵琶湖博物館

博物館のある下物町周辺の野鳥を観察。その後は館内で、烏丸半島周辺で見られる水鳥の種類や暮らしについてご紹介します。

日 時 2004年12月19日(日)雨天時は2005年1月23日に延期  
午前9時15分～午後3時

開催場所 博物館とその周辺湖岸

定 員 30名(小学4年生以下は保護者同伴)

申込方法 往復ハガキに必要事項を記入し琵琶湖博物館へ郵送  
(12/9締切) 詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ 滋賀県立琵琶湖博物館  
TEL.077-568-4811 FAX.077-568-4850  
ホームページ <http://www.lbm.go.jp/>

### 新春お茶席 水道記念館

おいしくなった高度浄水処理水で、新春らしくお抹茶をご賞味いただけます。気持ちしが和むと好評です。

日 時 2005年1月(未定)

会 場 水道記念館

休館日 月曜(月曜が休日の場合は翌日)、年末年始

お問い合わせ 水道記念館  
TEL.06-6324-3191 FAX.06-6324-3114  
ホームページ <http://www11.ocn.ne.jp/kinenkan>

### 淀川討論会 淀川愛好会

淀川流域で水環境活動に取り組んでいる市民団体の交流のあり方について討論します。

日 時 2005年3月12日(土)午後1時～午後5時

会 場 摂南大学寝屋川学舎

交 通 京阪電車寝屋川市駅西3番バス乗り場より京阪バスで約12分

お問い合わせ 淀川愛好会事務局  
TEL.&FAX.072-839-9124(摂南大学・澤井教授)  
e-mail sawai@civ.setsunan.ac.jp  
ホームページ <http://www.setsunan.ac.jp/civ/YODORIC/>

## 「千年作り続けられる寿司の元祖」

ふな  
鮒ずし

滋賀県

ふな  
鮒ずしは、なれ  
熟ずし

世界に誇る日本の食文化といえ  
ば、寿司。その元祖とも称されるの  
が、滋賀県の名産・鮒ずし。千年以  
上昔の書物に、近江国から宮中へ  
の献上品として、その名が記されて  
いるそうです。鮒ずしは、米と塩で魚  
を発酵させる。熟ずしの種で、元  
来は生活の知恵から生まれた保存  
食と考えられ、そのルーツは意外に  
も東南アジア。稲作とともに日本  
に伝播したといわれています。特に  
近江国は、近江の米、日本海の塩、  
そして琵琶湖の魚という三つが揃い、  
熟ずしを作るには絶好の地だったの  
でしょう。

独特の匂いが、たまらない

鮒ずしの原材料は、もちろんフナ。  
ニゴロフナが最上級とされています。

作り方を簡単に説明しますと、ま  
ずウロや内臓をきれいに取り除き、  
エラと腹に塩を詰め、桶に漬け込む  
こと約3カ月から、長ければ1年  
以上。塩を洗い出して陰干しの後、  
今度は腹にご飯を詰め、さらにご飯  
と一緒の桶に漬け込み、水をはって  
発酵を待つこと約4カ月から最長  
では2年。まさに熟成の味なのです。  
自然発酵による独特の匂いがあり、  
それがまた、鮒ずしファンにはたま  
らないといえます。

豊かな琵琶湖を食す贅

ニゴロフナは、琵琶湖にしか生息  
しない固有種。生まれて2〜3年  
で体長25〜35cmに成長し、刺網漁  
などで捕獲されます。しかし、漁獲  
量は減少傾向で、昭和40年頃の500  
トンから、平成15年には29トンにま  
で落ち込んでいます。県では、稚魚



〔写真提供:滋賀県立琵琶湖博物館〕

〔ニゴロフナ〕  
琵琶湖の固有亜種。沿岸部に住むが、近年減少  
している。

が外来魚に食べられにくくするた  
め体長約20mmにまで育てて放流し  
たり、産卵繁殖場として重要なヨ  
シ帯を造成したりと、さまざまな  
取り組みを行っているようです。  
豊かな自然と、それを大切にす  
る人々の心がなくなれば、その伝統  
も途絶えてしまうであろう鮒ずし。  
1998年には、県指定無形民俗  
文化財となりました。まさに琵琶  
湖の、日本の食文化の一つといえるで  
しょう。



〔写真提供:滋賀県〕

〔写真提供:滋賀県〕



# 中欧最大のリゾートレイクは、ハンガリーの海

水と人との関わりを見つめる 世界の水辺から



## バルトントン湖 ハンガリー共和国

ハンガリー共和国に位置する、中央ヨーロッパ最大の淡水湖バルトントン湖。東西に細長く、全長約77km・幅約10km。これは、琵琶湖の9割程度の広さにあたる。大きく違うのは深さで、最大水深約102m、平均水深約32mと、非常に遠浅の湖である。ちなみに琵琶湖は最大水深約103m、平均水深約43m。浅いだけあって夏は水温も高く、湖水浴をはじめ、さまざまなレジャーを楽しむ人々がヨーロッパ中から訪れる。冬には湖面が凍結し、スケートを楽しむ人も。ハンガリーの海とも呼ばれるバルトントン湖は、

内陸国ハンガリーにとって貴重なリゾート地なのである。一方、人や物が集中することによる環境の悪化や、周辺からのリン、窒素の流入による富栄養化が深刻な問題となってきたおり、行政や民間団体による各種の水質保全対策が計画・推進されている。これは琵琶湖にも共通する、いや、世界の水辺が抱える課題といえる。



1. いたるところに青い空と緑の大地が広がっている。
2. 湖岸の公園には多くの露店が出て賑わう。
3. 老若男女が散策を楽しむ湖畔。
4. バルトントン湖では、景観保護のため橋は架かっていない。フェリーが観光客や地元の人々の重要な足となっている。
5. バルトントン湖沼学研究所。1927年からバルトントン湖の水質問題、生態系を研究している。

## BALATON



6. ブドウ畑からバルトントン湖を望む
7. ワイン研究所

### 自然の浄化施設、キシュ・バルトントン

バルトントン湖の西端にある、キシュ・バルトントン。ハンガリー政府が3年がかりで造った湖である。内湖には水路が張り巡らされ、ヨシの湿地帯が続く。ザラ川の水が、この巨大な浄化施設を経てバルトントン湖に注ぐ仕組みだ。「キシュ」はハンガリー語で「小さい」。しかし総面積は琵琶湖の南湖をしのぐ。

キシュ・バルトントンには、多くの生物が生息している。野鳥は5〜6月、9〜10月が最も多く、約7万羽が飛来する。また、バルトントン湖と比べて、キシュ・バルトントンの方が、魚の成育が良いのだそう。水辺にはヨシ、ガマなどの植物が見られるが、ここでも、セイタカアワダチ草などの外来種が問題視されている。植物だけでなく、アライグマなどの動物もいるという。

### 名産品はブドウワイン

バルトントン湖のまわりの町では、ブドウがよく栽培されている。ブドウ畑の小高い丘から湖を望むと、ゆったりと流れる時間を感じる事ができる。また周辺でつくられているワインには、火山灰の成分を含んだ土が豊潤な香りと味わいを与えているという。湖の北西部、バタチヨにはワイン研究所もある。今はつくられなくなった伝統的なブドウの品種開発や品種改良などが行われているそうだ。ここにつくられる代表的なワインは、スルケバフリート(surkebarait)灰色の神父(ケケネル(keknyel)＝青いハンドル)など。「灰色の神父」は昔白い服を着た神父がブドウづくりで灰色になってしまったことから、「青いハンドル」はブドウの茎が他のものと比べると青いことから、このような名前が付けられた。



琵琶湖に注ぐ葉山川の河口に位置する琵琶湖・淀川水質浄化共同実験センター「Biyo(ビヨ)センター」。ここで行われている、河川や湖沼を浄化する実験を紹介します。

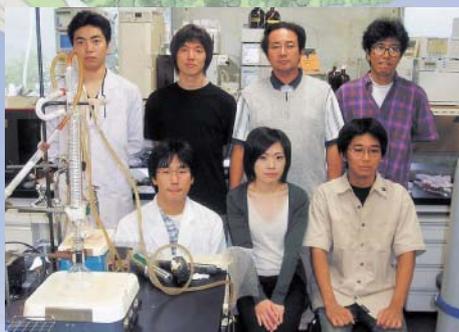
# Biyoセンター

琵琶湖・淀川水質浄化共同実験センター

実験レポート

## 「生分解性吸着剤による窒素・リン除去実験」

京都工芸繊維大学 細矢 憲 助教授



京都工芸繊維大学 細矢憲助教授(後列、右から2人目)と学生の皆さん

湖沼、河川、内海などの閉鎖性水域で、水質の悪化が一目瞭然となるのが赤潮、アオコ。これは、生活・産業排水などの流入によって、栄養素となる「窒素」「リン」が大量に増え(富栄養化)、プランクトンや藻類を異常発生させるために起こる現象です。進行すると水中の酸素が不足し、魚介類の命さえ奪われます。湖を水源とする水道水にも、カビ臭くなるなどの影響が懸念されます。

今回は、この栄養素である「窒素」「リン」を除去する、京都工芸繊維大学の細矢憲助教授が取り組んでおられる実験をご紹介します。

### 自然の力を応用した、二段階の浄化システム

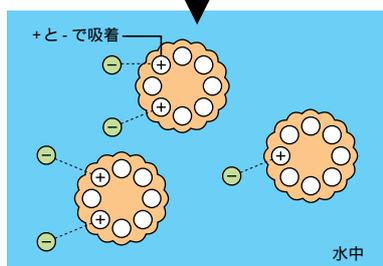
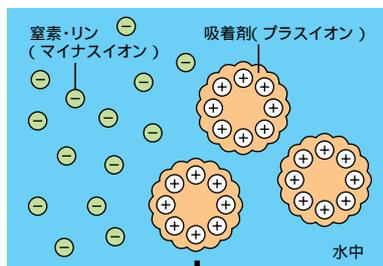
細矢助教授がゼミの学生達とともにやっているのは、「生分解性の吸着剤を使った窒素・リンの除去実験」。水中の窒素・リンはマイナスイオンです。ということは、プラスイオンの吸着剤を近づけてやれば、+と-が互いに引き合い、窒素・リンが吸着剤に取り込まれるという仕組み。これなら、微生物の繁殖を待たずに素早く除去することができます。ただし、プラスイオンすべてにマイナスイオンが吸着すると、当然それ以上は除去できないという限界があります。そこで細矢助教授は、吸着剤を生分解性 - つまり微生物が食べる樹脂にすることで、+ - が一杯になった後は、繁殖した微生物に除去させるという二段階の浄化システムを構築しました。自然の作用と自然の力の組み合わせによる水質浄化方法です。また、使用済みの吸着剤を、肥料として畑地、水田等に再利用するための研究・実験も行われています。

言葉にすれば簡単なようですが、この実験は今年で5年目。吸着剤をつくるだけで2年を費やしたそうです。湖や川で実用化されるには、まだ多くの研究課題が残されていますが、今後の展開に大きな期待が寄せられています。

#### 発泡型生分解性吸着剤



#### 窒素・リンの吸着の仕組み



# 地球の水が、 もしもプール1杯分だったら

水の惑星といわれる地球。地球上に存在する水は、約14億 $\text{km}^3$ です。そのうちの97.5%は海水。つまり、そのままでは飲めない水。淡水はわずか2.5%です。が、その大部分(約1.7%)は南極や北極の氷雪。残りは約0.8%ですが、それも、ほとんどは地下水。結局、人間がすぐに使うことのできる湖や川の淡水は、地球全体の水の0.01%ほど。約0.001億 $\text{km}^3$ にすぎません。

(財団法人水資源協会「世界の水と日本」をもとに作成)

どうもピンときませんね。それでは!

もしも地球の水が、学校にあるような**25mプール**  
( $250\text{m}^3 = 25\text{万L}$ として)

**1杯分**だったとしたら、**人間が利用できるのは、**

たったの25L。**1L牛乳パックで25本分**です。

さらに、もしも地球の水が**風呂桶1杯分**だったなら、

人間の使える水は**1滴**です。



この、とても貴重な水を、私たち人間は汚しています。生活排水が増えると、川の水もひどくに汚くなります。たとえば、醤油おおさじ1杯(15ml)を台所に流すと、川の水を魚の住めるような水質に戻すのに、バスタブ1.5杯分(約450L)の水が必要となります。ラーメンの汁(200ml)なら、バスタブ3.5杯分(約1050L)です。(環境省 旧環境庁水質保全局水質規制課 平成8年調べをもとに作成)

人間は、水なしでは生きられません。また、私たち人間だけが水を必要としているわけではありません。魚や鳥や植物など、あらゆる生物も水を必要としているのです。私たちは、この限られた資源を上手に使わなくてはなりません。



# バルトン連合設立100周年記念事業へ参加



## THE BALATON ASSOCIATION

河川、湖沼、あるいは海。水質の保  
全は、世界各国共通の課題です。その  
ため、財団法人琵琶湖・淀川水質保全  
機構（以下「BYQ」）では、ヨーロッパ  
やアメリカで水質保全の取り組みを進  
めている海外の団体と、研究および技  
術交流に関する協定を締結し、情報・  
技術を共有するとともに、水質浄化  
に関する知見を広げています。

ハンガリー共和国の「バルトン連合」  
は、BYQとこのような協定を結んで  
いる団体の一つであり、中央ヨーロッパ最  
大の湖、バルトン湖の水質改善に取り  
組んでいます。そして2004年はバ  
ルトン連合設立100周年にあたる年！。

去る8月13・14日の2日間、バルトン  
湖の周辺都市で開催された記念事業  
にBYQも参加し、情報交換を行う  
とともに、研究機関等への視察も実施  
しました。

### バルトン連合設立 100周年記念事業

- 8月13日  
記念総会  
記念碑設置  
初代理事長記念碑への献花
- 8月14日  
写真展  
国際会議  
理事長との対談  
技術交流会に関する協議  
視察



人々に愛される湖を、  
この先の100年を

バルトン湖は、琵琶湖の約9割の大  
きさで、水深も平均32mと非常に浅い  
湖です。バルトン湖は、その広大な風景  
から「ハンガリーの海」と呼ばれており、  
夏のレジャーシーズンには、ハンガリー  
国内はもろろん、ドイツをはじめヨーロ  
ッパ各国から多くの観光客で賑わいま  
す。訪れる観光客は、のべ数で1000  
万人。ちなみにバルトン湖流域に住む  
人々は、およそ37万人。30倍もの人々  
がレジャーシーズンに湖を訪れること  
になります。

た水が湖に入り、湖の水質が悪化し  
ます。1970年代から湖の富栄養化  
が進み、アオコの発生が確認されるよ  
うになりました。そして、1994年に  
は最大規模のアオコが発生しました。  
このため、バルトン連合では、下水道普  
及率の向上、汚泥の浚渫、キシユ・バラ  
トンの造成完成をハンガリー政府と協  
力して行いました。キシユ・バルトンと  
は、バルトン湖  
の流入河川で  
あるザラ川の  
下流湿地帯に  
ある、小さいキ  
シュ（バルトン  
湖（バルトン）  
のことで、琵琶



湖にある内湖のようなものです。ここ  
にはヨシなどが植生しており、バルト  
ン湖に流入していたアオコなどの原因  
となるリンや窒素を吸収する、自然の  
浄化施設の役割を果たしています。  
バルトン連合は、これまでの100年間、  
バルトン湖の美しさ―青い水面と青い空  
そして白い雲が織り成す絵画のよう  
な美しさ―を守ってきたように、これか  
ら100年、今以上に美しいバルトン湖を  
目指して活動を続けることしょう。

### これからの バルトン連合とBYQ

バルトン連合では、このように100年  
にわたる経験、実績があります。一方、

BYQでも、琵琶湖畔の葉山川の河口  
部にあるBIVN（バイエフエヌ）センター（琵琶湖・  
淀川水質浄化共同実験センター）での  
水質浄化実験を通じて、多くの成果  
をあげています。そして、BYQとバラ  
トン連合とは、お互いの機関が実験や  
研究などを通じて貯えた知見・技術に  
ついて、技術者レベルの交流を行うこと  
により、相互の技術向上を行ない、水  
質浄化を推進していこうとしています。  
水質保全は、世界共通のテーマです。  
一國の取り組みでは困難な課題も、国  
境を越えて各国が情報や技術を共有  
し、取り組むことによつて、やがては理  
想的な水環境が実現できると私た  
ちは考えています。

## バルトン湖と琵琶湖の比較

	バルトン湖	琵琶湖
誕生	5~7千年前	約400万年前
湖面積	594km <sup>2</sup>	670km <sup>2</sup>
湖岸線	235km	235km
流域面積	5775km <sup>2</sup>	3848km <sup>2</sup>
湛水量	20億m <sup>3</sup>	275億m <sup>3</sup>
長軸	77km	63km
最大水深	10.2m	103.6m
平均水深	3.2m	北湖43m南湖4m
流域内人口	37万人	1200万人

## ハンガリー共和国のミニ知識

(2004年10月現在)

正式国名 / ハンガリー共和国

首都 / ブダペスト

面積 / 93千km<sup>2</sup>

人口 / 1014万人

言語 / ハンガリー語

通貨 / フォリント (Ft)

1Ft=およそ0.55円

歴史

- 896 マジャル民族が現在のハンガリーの地にたどり着く。歴史上、ここからハンガリーの始まりとされている。
- 1241 蒙古襲来。ハンガリー侵略される。モンゴル君主の死によりモンゴル軍撤退。
- 1526 オスマン・トルコによる占領。
- 1699 全ハンガリーからオスマン・トルコが撤退し、ハプスブルグ家による支配となる。
- 1711 オーストリアの支配下となる。
- 1848 ハンガリー独立戦争が開始されるが、ロシア皇帝軍の侵攻で独立軍は敗北。
- 1867 オーストリア・ハンガリー帝国発足。
- 1920 トリアノン条約により領土の2/3を割譲。
- 1949 ハンガリー人民共和国として社会主義体制となる。
- 1989 社会主義体制から民主主義体制への体制変革。
- 1999 北大西洋条約機構(NATO)に加盟。
- 2004 EU加盟。



# BYQネットワーク ~協賛グループの紹介~

## 淀川愛好会 Yodo River Club



水環境の改善には、さまざまな人々が情報を共有し、それぞれの立場から参画・協働することが不可欠です。そのため、BYQ((財)琵琶湖・淀川水質保全機構)では、流域住民の情報交換をスムーズにし、流域内の交流を活性化しながら、交流 協調 協働へと段階的に連携の熟度を高めることを目指して、BYQネットワークを推進しています。現在、BYQネットワーク内では、多くの市民団体が活動し、相互に情報交換を行っています。また、市民と市民団体、市民団体相互をつなぐツールとして、「BYスタンプラリー」( )を2004年3月15日から実施しています。

( )BYスタンプラリーとは、協賛グループの活動に参加してスタンプを集め、事務局に送付すると、素敵な景品がもらえるというもの。これまでに約500人の方が応募されています。また協賛グループは、37の市民団体と14の水関連施設で構成されています。(2004年10月現在)



澤井健二教授(前列左)と学生の皆さん  
(摂南大学ピオトープにて)

この誌面では、BYQネットワークで活躍されている市民団体にスポットを当て、その活動内容をレポート。今回は、『淀川愛好会』の澤井健二教授にお話を伺いました。

淀川愛好会の事務局は、寝屋川市の摂南大学内にあります。「川が汚い。何とかならないだろうか」。会の総務を担当する澤井健二教授が、同僚の先生からこう相談されたのは約7年前、平成9年4月のこと。河川を専門とする澤井教授は、てっきり水質の話と思いきや、汚いのは堤内地。つまり川辺に落ちているゴミでした。私じゃなくても...しかし誰かがやらねばという思いから、澤井教授は他の先生や学生たちに呼び掛け、総勢20名での、淀川のゴミ拾いがスタート。淀川愛好会の始まりでした。



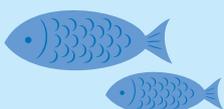
Eボートによる親水活動(琵琶湖にて)

同年12月には、卒業生を中心に約200名の賛同者を得て、市民団体として正式に会が発足。川辺のゴミ拾いに止まらず活動の幅を広げるため、10人乗りの手漕ぎボート「Eボート」も苦勞して購入しました。そして淀川愛好会は、第一に、川に関する知識や情報を深め、それを皆で交換・共有すること。第二に、河川環境を保護・改善するための活動を行うこと。最後に、川を愛し、親しみ、楽しむこと。そうして地域社会への貢献を図ることを目的に掲げたのです。河川に関する討論会・講演会・見学会からEボートレースやバーベキューまで。寝屋川市だけでなく流域の各地、さらには淀川に限らず大和川や遠くは北海道などへも出掛け、さまざまな活動を実践しています。他団体や行政との連携も広がってきました。

全国各地の水環境には、淀川愛好会のように活発に活動している団体がいくつもあります。澤井教授は言います―「流域を超えて交流を深め、近畿の水環境ネットワークをつくりたい。つくるといふよりは、私たちが皆をつなぐ役目を少しでも担えれば、と考えています。それが淀川愛好会の夢です」。



茨田の堰の見学(寝屋川市点野にて)



# ジュニアリバースクール2004

琵琶湖・淀川コースが  
開催されました！

ジュニアリバースクール2004は、昔に比べて川や湖との関わりが少なくなった子供たちが、琵琶湖・淀川のフィールドでの活動体験や水関連施設での見学を通じて、水に関する舟運、自然、歴史などを楽しく学べるイベントです。日本財団の助成を受け、「第3回世界水フォーラム」を契機として、平成14年度に第1回目が開催され、今年で3回目となりました。今年は、琵琶湖・淀川コースの他に伏見コースもありますが、今回は10月に開催された琵琶湖コース、淀川コースをのぞいてみましょう。

## 淀川コース

**実施日** 平成16年10月23日(土)

**参加者** グリーンキッズ2名(兵庫県)、五領小学校31名(大阪府)、伯母川研究こどもエコクラブ「伯母Q五郎」10名(滋賀県)、八雲小学校18名(大阪府)

=計61名の小学生と引率者14名+チューター5名

枚方の淀川資料館、城北ワンドを巡り、希少種であるイタセンバラが生息している、自然豊かなワンドがなぜできたのかを探りました。またワンド会場では、子どもたちの学習補助をしてくれるボランティアの「チューター」に、水質の測定方法やささ舟のつくり方を教わりました。



淀川資料館では、くらわんか船など淀川舟運の資料やワンドの自然に関する展示等を見学。



城北ワンドでは、鳥の専門家から淀川に住む野鳥のお話し。その後、淀川の水質調査、ささ舟づくりなどを行いました。

大津港からシャトル船「ランシング」に乗船。青い空と湖に、みんな大喜び。



琵琶湖の魚にさわってみよう。この他、琵琶湖博物館では舟運、自然、歴史など、さまざまな展示を見学。

## 琵琶湖コース

**実施日** 平成16年10月16日(土)

**参加者** 東丘小学校23名(大阪府)、放出小学校28名(大阪府)、鴻池エコクラブ9名(兵庫県)

=計60名の小学生と引率者13名+チューター4名

琵琶湖で船に乗り、琵琶湖博物館で舟運や自然について、アクア琵琶では治水について学びました。船の上は、とても心地よい風が吹いていました。

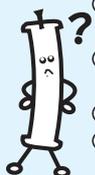


アクア琵琶では、琵琶湖の洪水対策について模型で学習。

## 2005年WAQU<sup>2</sup>調査隊 調査隊員大募集！！

身近な川の水を自分で調べてみませんか

### WAQU<sup>2</sup>調査隊とは？



- 身近な川の汚れ(水質)を自分自身で調べることで、水環境を考え直すきっかけづくりを目指した活動です。
- 調査隊員になると、身近な川の汚れ(水質)を簡単な測定キットを使って調べることが出来ます。
- 調査活動は、1年間で4回(春・夏・秋・冬)を予定しています。
- 1年間を通じて調査に参加すると、水質マップや図書カードを進呈します。

### 応募内容

- 応募資格：琵琶湖・淀川流域に住み、水環境に興味がある方
- 応募期間：平成16年12月24日(金)まで
- 応募方法：申込用紙はBYQホームページ(<http://www.byq.or.jp>)からダウンロードできます。

お問い合わせ：琵琶湖・淀川水質保全機構 TEL06-6202-1267

# 水辺からのメッセージ 大阪市の水道

大阪市の水道は、明治28年11月に横浜、函館、長崎について全国で4番目の近代的水道として給水を開始しました。大阪市の水道はその水源をすべて琵琶湖・淀川水系に依存しています。そのため大阪府では水需要の増大に対して早くから水資源の確保に努めてきており、琵琶湖開発事業など各種の水資源開発事業に参画し、本市において必要とされる水需要に見合う水利権量(30,976 m<sup>3</sup>/秒)を既に確保しました。また、これら水資源開発により琵琶湖・淀川水系は、渇水に対して安全度の高い水系となりました。現在では、柴島浄水場・庭窪浄水場・豊野浄水場の3浄水場から1日に最大243万m<sup>3</sup>のきれいな水を送ることができます。

今回は「水道局職員によるボランティア活動」と「水道記念館」についてご紹介させていただきます。



詳しくは、大阪市水道局ホームページ  
<http://www.water.city.osaka.jp/headline/v-net-16.html>  
をご覧ください。

**水道局職員によるボランティア活動**  
水道局職員は市民生活や都市活動に欠かすことのない水を24時間休むことなく送り届けるという社会的・公共的使命を有しています。このような重要な使命を担う者として水道事業の枠を超えて、市民の皆様や地域社会に幅広く貢献できる活動に取り組んでいこうという機運が局内に高まり、1998(平成10)年3月、大阪市水道局ボランティア活動実行委員会(通称大阪水道V・ネット)が発足しました。  
大阪水道V・ネットでは、「淀川クリーン活動」として、大阪市の水道水源である淀川河川敷での定期的な清掃、「水源保全PR活動」として、街頭で水源保全を呼びかける活動、「水源の森」育林活動」として、琵琶湖西岸での植林活動などに取り組んでいます。これらの活動には、水道局職員が休日や勤務時間終了後に、自主的なボランティアとして参加しています。また、職員以外の方々の参加も受け付けており、皆様の参加をお待ちしています。

## 水道記念館



大阪市東淀川区柴島にある、水道記念館は大阪府水道通水100周年を記念してオープンした施設で、水道の歴史や、琵琶湖・淀川水系の淡水魚、暮らしと水道との関わりなどをわかりやすく紹介しています。その建物は1914年(大正3年)から1986年(昭和61年)まで大阪市の主力ポンプ場として活躍した、旧第1配水ポンプ場を保存活用したもので、宗兵衛氏の設計による、ネオルネサンス様式の赤煉瓦と御影石との調和が美しい景観を創り出しており、夜のライトアップなどで皆さんに親しまれています。1999年(平成11年)には現存する明治・大正建築として国の有形文化財として指定登録をつけています。  
大阪府にお越しの際は、ぜひ水道記念館にお立ち寄りください。

## (財)琵琶湖・淀川水質保全機構 賛助会員(50音順)

計23社(平成16年10月1日現在)

(株)アイ・エヌ・エー関西支店、(株)アクアテルス琵琶湖事業部、(株)和技研、(株)環境科学コーポレーション、近畿技術コンサルタンツ(株)、(株)クリアス、(株)建設環境研究所、(株)建設技術研究所大阪支社、国際航業(株)関西支社、国土環境(株)、滋賀県下水道保全事業協同組合、(株)修成建設コンサルタント、(株)新洲、帝人エコ・サイエンス(株)、(株)東京建設コンサルタント関西支店、東洋電化工業(株)、(株)西日本技術コンサルタント、(株)日建設シビル、(株)日水コン、日本工営(株)大阪支店、(株)ニュージェック、パシフィックコンサルタンツ(株)大阪本社、八千代エンジニアリング(株)大阪支店



財団法人 **琵琶湖・淀川水質保全機構**  
Lake Biwa-Yodo River Water Quality Preservation Organization

〒541-0041 大阪市中央区北浜1丁目1番30号 横井北浜ビル3階

TEL 06-6202-1267 FAX 06-6202-1317  
E-mail biyokiko@byaq.or.jp <http://www.byaq.or.jp/>

## 広告募集

琵琶湖・淀川の未来を見つめる情報誌「BY BLUE」に広告掲載を希望される水環境関連の企業・団体を募集しています。掲載料等のお問い合わせやお申し込みは、(財)琵琶湖・淀川水質保全機構・企画開発部まで。



古紙含有率100%の再生紙を使用しています。



このパンフレットは大豆油インキを使用しています。

(財)琵琶湖・淀川水質保全機構は、淀川水系における河川・湖沼の水質浄化技術及びこれに関連する技術に関する研究開発、水質浄化事業の支援等を行うことにより、淀川水系の水質保全に寄与し、もって潤いのある地域社会の形成と、関係住民の生活環境の向上に資することを目的としています。

「BY BLUE」とは、琵琶湖(BIWAKO)・淀川(YODOGAWA)を青く(BLUE)美しく、という願いから名づけました。